

【実施主体】パシフィックコンサルタンツ・ミドリクNbS共同提案体

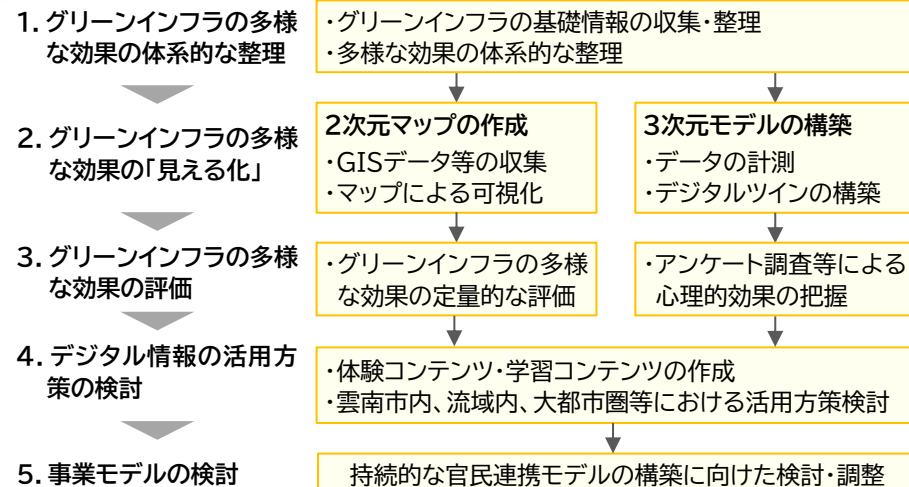
【タイトル】グリーンインフラの価値の評価・共有によるWell-beingの向上と地方創生（モデル構築地方公共団体：島根県雲南市）

①調査概要

調査の目的・内容 森林や里山、河川等のグリーンインフラが有する多様な価値・効果を「見える化」し、地域内外の多様な人に対してデジタルコンテンツを介した価値・効果の訴求を行うことによって、地域コミュニティや福祉、観光、ブランディングなど地域内外での活用を図るための官民連携モデルの構築を目的とする。

解決したい課題 グリーンインフラが有する価値・効果を市民や来訪者等に共有することで、森林や河川等のグリーンインフラに対する関心や資金を呼び込み、地域住民のWell-beingの向上や地域経済の活性化、持続的なグリーンインフラの管理・活用につなげることを目的とする。

②実施方針・フロー



③モデル構築地方公共団体概要

島根県雲南市 人口：約3.6万人、面積：553.18km²

特徴

- ✓ 高齢化率約40%と人口減少・高齢化が進行
- ✓ 森林・水系・里山景観など豊かな自然環境を有する
- ✓ 地域自主組織の活動により課題解決先進地を目指す

解決したい課題

- ✓ グリーンインフラが有する価値の市民や来訪者への共有
- ✓ 地域住民のWell-beingの向上や地域経済の活性化
- ✓ 森林等の持続的な管理・活用

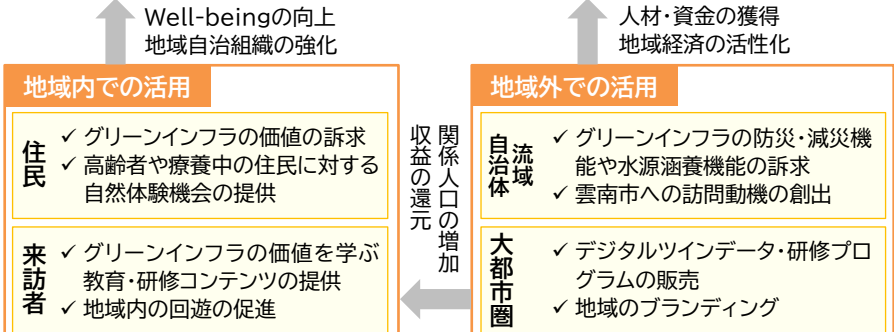
検討状況

- ✓ 「うなんビジョン2025-2034」の策定
- ✓ 森林情報基盤の構築、林業従事者向けの研修等の実施
- ✓ ローカルベンチャーの支援

④スキームの概要

デジタルツイン等を介したグリーンインフラの価値・効果の可視化を通じて、地域のWell-beingの向上と地域経済の活性化、森林等の持続的な管理等に統合的に対応する事業スキーム（官民連携モデル）の構築を目指す。

地域ビジョン well-being for all UNNAN（みんなが幸せに暮らせるまち）

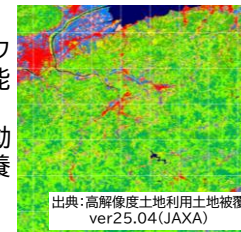


グリーンインフラの価値の可視化・評価

- ✓ Well-being向上に資するデジタルコンテンツの作成
- ✓ グリーンインフラの価値・効果を伝えるストーリーの構築

2次元マップ

- ・グリーンインフラの分布や機能の地図化
- ・価値（気候変動緩和、水源涵養等）の定量化



デジタルツイン

- ・水の流れや揺らぎを表現した体験型コンテンツの作成
- ・Well-beingの向上効果の把握

